

[第22回全国大会公開シンポジウム]

世界の中の日本の世界

趣旨説明 ● 鈴木裕輔	004
[基調報告]	
布のちから ● 田中優子	006
江戸時代における日本の250年間の海外交流史 ● タイモン・スクリーチ	013
[登壇者によるコメント]	021
[質疑応答]	024
司会 ● 鈴木裕輔	

[第22回全国大会フォーラム]

コロナ禍の国際文化教育

はじめに ● 高橋梓	038
[フォーラム報告]	
名城大学における取り組みの成果と課題 ● 鈴木裕輔	039
成蹊大学文学部芸術文化行政コースの取り組み ● 川村陶子	044
2022年度ICCO短期集中セミナーについて ● 松居竜五	049
ICCO短期集中セミナー参加記 ● 藤原椋	049
コロナ禍のヴァーチャルエクスカスカーション	
映画部員、飛鳥へゆく ● 清水美咲	051
[コメント] ● 葉柳和則	054
[全体討議]	058

生命・実在・観音

——20世紀初頭の救世教と吉田修夫の思想 ● 龜山光明	060
特殊法人国際交流基金の軌跡	
——自律性・双方向性・「文化」の範囲を巡って ● 坂戸勝	077
称賛される日本とその流用	
——メディア表象における特徴と考察 ● 齋藤大輔	094

戦後日本の文化外交における

「文化協力」言説の変遷とその課題 ● 鈴木勉	110
------------------------	-----

小国喜弘著『戦後教育史——貧困・校内暴力——貧困・校内暴力・いじめから、不登校・発達障害問題まで』 ● 稲井智義	119
半田幸子著『戦間期チエコのモード記者 ミレナ・イェゼンスカーの仕事——〈個〉が衣装をつくる』 ● 葉柳和則	122
月野楓子著『「よりどころ」の形成史——アルゼンチンの沖繩移民社会と在亜沖繩県人連合会の設立』 ● 目黒志帆美	125
陣野俊史著『魂の声をあげる——現代史としてのラップ・フランセ』 ● 山川清太郎	129

【会員の著書紹介】

* 稲井智義『医学が子どもを見出すとき——孤児、貧困児、施設児と医学をめぐぐる子ども史』(土屋敦・野々村淑子編)	133
* 岡真理子『特殊法人国際交流基金研究会誌事録集(上下)』(特殊法人国際交流基金研究会編)	
* 松井真之介『神奈川の関東大震災——100年後の視点』(藤田賢久他編著)	
* 鈴木裕輔『政治家石橋湛山——見識ある「アマチュア」の信念』	

【博士論文紹介】

『幸田露伴研究——「圏外」としての近代中国という視座から』 ● 梁鎮輝	136
-------------------------------------	-----

【国際化学 私の3冊】

変わる主体/表徴と変わることの主体性	
——“際/間”にみる“つながる”ための工夫 ● 菅野敦志	138

英文目次	144
ABSTRACT	145
編集後記	148
日本国際文化学会 2023年度事業報告	149
日本国際文化学会第22回全国大会プログラム	150
日本国際文化学会第23回全国大会開催予告	154
第13回平野健一郎賞受賞者	155
全国大会発表要項について	156
2024～2026年度役員及び各種委員一覧	157
日本国際文化学会規約	159
『インターカールチュラル：日本国際文化学会年報』編集要項	161
『インターカールチュラル：日本国際文化学会年報』投稿規程	163
平野健一郎賞規程	165